

～現場の負担を大幅軽減！～

介護スポットワーク受け入れクイックガイド

～未経験ワーカーを安心・安全に受け入れ、有資格者が「直接介護」に専念できる現場づくり～



💡 「周辺業務」の切り出しで指導負担を最小限に！

初めてスポットワーカーを受け入れる施設でも、不安なくスムーズに運用できるよう、昨年度の実証事業で得られた成果を1冊にコンパクトにまとめました。

導入のメリットと全体ステップ

現場のメリット

周辺業務の切り出し効果

掃除・配膳・リネン交換などの周辺業務を切り出すことで、介護有資格者が「直接介護」や「利用者とのコミュニケーション」に専念できる環境が整います。

有資格者の業務効率UP & 精神的負担軽減！



受け入れのカンタン3ステップ

1 業務切り出し・求人作成
(P2～P3参照)

2 当日の受入と
教育・フォローについて
(P4参照)

3 現場FAQ・相性の良い業務
(P5～P6参照)

実証成果！4象限で選ぶ「タスク切り出しマップ」

高

専門性

低

モノ

ヒト

領域b：技術的補助業務

他業界（ホテル・飲食等）のスキル・経験が活きる技術的タスク

-  **リネン交換**：シーツ・枕カバー交換、ベッドメイク
-  **調理補助**：食材カット、盛り付け、おやつ準備
-  **送迎補助**：送迎運転（軽自動車等）、車内清掃

領域d：専門補助

主にリピーター・有資格者向け。
対人介助のサポート

-  **入浴補助**：ドライヤー掛け、着脱補助、誘導
-  **移動介助**：車椅子移動補助、歩行時の付き添い
-  **軽微計測**：バイタル測定
（血圧・体温測定 等）

領域a：周辺業務

★まずここから！

手順が標準化され教育コスト最小。対人リスクが極めて低い

-  **清掃**：居室・共有部・器具の清掃・消毒、ゴミ捨て
-  **洗濯**：業務用洗濯機・乾燥、たたみ・仕分け
-  **配膳・洗い場**：食器洗浄、配膳・下膳、おしぼり配布

領域c：見守り・対人

資格より「人柄」や「傾聴力」が活きる。
現場の人の目を増やす

-  **見守り**：フロアや食堂での安全監視、転倒防止
-  **会話**：日常会話（お話し相手）、傾聴
-  **レク補助**：レクリエーションの準備・補助

対象

※業務切り出しについては、スポットワーク事業者のサポートを活用することも可能です。

STEP 1 後編

【募集のコツ】求人タイトルで「他職種の即戦力」を惹きつける！

介護未経験でも他業種経験があれば即戦力！求人タイトルの工夫でマッチング率の向上が期待できます。

💡 なぜ他職種スキルをターゲットにするのか？

「介護未経験者」であっても、ホテルや飲食店・清掃業での実務経験があれば、「技術的補助 × 対象：モノ」の業務（シーツ交換や調理補助、清掃作業）を初日からスムーズにこなせます。具体的に求人タイトルへターゲットを入れるのが成功のノウハウです。

他職種スキルを誘引する求人タイトルの工夫例

🛏 ベッドメイキング ・ シーツ交換

求人タイトル例

「【ホテル清掃や客室整備の経験が活かせる！】 シーツ交換・居室セッティング」

🍳 調理補助 ・ 配膳盛 り付け

求人タイトル例

「【調理経験者歓迎！】 介護施設で盛付・配膳とお茶出しサポート」

🧹 施設内の清掃 ・ 環境整備

求人タイトル例

「【清掃や家事代行経験者歓迎！】 介護施設の清掃作業」



スポットワークアプリ（タイミー）での見え方イメージ



未経験者歓迎

✨【無資格・未経験歓迎】✨ 介護施設でのシーツ交換・掃除洗濯業務 ✨

🕒 9:00～12:00

📍 かほく市

¥3,562



未経験者歓迎

✨【未経験者歓迎！】✨ 介護施設厨房の「調理補助」のお仕事 ✨

🕒 9:00～12:00

📍 小松市

¥3,300

STEP 2

現場で迷わない！3つの教育類型パターン

ワーカーの習熟度や業務の難易度に応じて、現場での指導スタイルを使い分けます。

パターン① 「隣接・並走」型

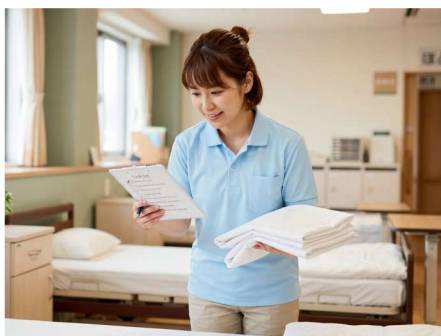


指導スタイル: 職員が常に隣につき、ペアで一緒に作業。

適用業務: シーツ交換、入浴介助（補助）など。

ポイント: 常にフォローができる環境を整えることで、早い段階から安心・安全を担保して作業に従事できる体制を実現。

パターン② 「段階的自走」型



指導スタイル :
最初の短時間でレクチャー→あとは単独作業＋定期確認。

適用業務: シーツ交換、清掃、調理補助、配膳など。

ポイント: タスクリストを渡し、一通り説明した後はワーカーに任せ、定期的（30分ごとなど）に進捗確認を行います。

パターン③ 「アジャスト」型



指導スタイル : 当日の簡易なヒアリングを通して、その人にあった業務を調整。

適用業務: 他施設経験者、ホテル清掃等経験者の業務全般、リピーター。

ポイント: 求人の「業務内容」を幅広く記載し、当日ヒアリングで柔軟に業務を調整し、指導コストを削減。

現場受け入れ FAQ（実証事例に基づく Q&A 3選）

現場からよく上がる「不安」や「疑問」に対する具体的な解決策・ノウハウです。

※掲載している回答は昨年度の実証事業で寄せられた実際の声です。これらを参考に、実際の運用については各施設のご判断で進めてください。

Q1. 利用者の安全性を担保するためには、どのような工夫が必要ですか？

A1. 利用者の「個性（身体的特徴など）」の把握が必要な業務を避けるケースもあります。

- ・ **業務の境界線:** 利用者ごとの状態を把握している必要がある業務は既存職員が担当します。
（例：転倒リスクを考慮した介助など）
- ・ **初回ワーカー:** 「対象がモノ」の手順が標準化された安全な周辺業務を中心に。
事故リスクをゼロに近づけます。
（例：清掃・シーツ交換・配膳など）

Q2. 利用者にもスポットワーカーの事前案内や紹介をした方が良いですか？

A2. はい。業務開始前の一言紹介や事前案内を行うことで、利用者の安心感や歓迎ムードに繋がります。

- ・ **朝の一言紹介:** 「今日一日お手伝いしてくれる〇〇さんです」と紹介すると混乱や不安を防げます。
- ・ **専用名札の活用:** 一目でサポートスタッフだとわかり、現場でのコミュニケーションもスムーズになります。

Q3. 長期採用へ繋げるにはどのようなステップが良いですか？

A3. 以下の「4ステップ」で進める方法があります。

1. 初期確認	2. 現場見極め	3. リピートでの複数勤務	4. 条件調整
「働く前の質問」機能（※）を活用し、長期就業への関心のあるワーカーを事前に把握	当日の実稼働を職員が直接確認し適性を見極める （作業の正確性・周囲への対応・挨拶など）	複数回勤務してもらう中で「雑談」を通して心理的ハードルを下げ、現在の就業状況や意向をカジュアルに再確認。	仕事ぶりや人柄は確認済のため、面接の主眼は「条件面の合致」のみ。 スピーディーな採用決定が可能。

（※）記載の機能はサービス（タイミー等）により搭載状況が異なります。各サービスの仕様をご確認の上ご活用ください。

STEP 3 後編

スポットワークと相性の良い業務一覧

昨年度の実証事業アンケート結果から見えた「効果的な切り出し業務」一覧です。

切り出し業務の選定の参考にしてください。

【表の見方】

「領域」列のアルファベット（a～d）は、P.2の「タスク切り出しマップ」に対応しています。

【推奨度】（「実施可能」と回答した事業所の割合）

★★★★：60%以上（受入実績多数）

★★★：40%～60%

★★：20～40%

★：20%未満

区分	タスク内容	領域	初回勤務	リピーター (2-3回)	リピーター (それ以上)
初級 マニュアル で可能	食事準備・片付け（机上清掃・おしぼり配布等）	a:周辺業務	★★★★	★★★★	★★★★
	清掃（床掃除・トイレ清掃・ゴミ捨て等）	a:周辺業務	★★★★	★★★★	★★★★
	洗濯（洗濯・畳み・返却等）	a:周辺業務	★★	★★	★★★★
	入浴補助（衣類準備・物品補充等）	a:周辺業務	★★	★★	★★★★
	維持管理（車両清掃・水やり・備品チェック等）	a:周辺業務	★	★★	★★
	レクリエーション（道具準備・片付け等）	a:周辺業務	★	★★★★	★★★★
中級 短時間研修 で可能	食事準備・片付け（自助具配布・配膳・下膳等）	b:技術補助	★★	★★★★	★★★★
	ベッドメイキング（シーツ交換等）	b:技術補助	★★	★★★★	★★★★
	入浴補助（水分補給の準備等）	d:専門補助	★★	★	★★★★
	レクリエーション（企画・進行・講師等）	c:コミュニケーション	△	★	★★
上級 専門性が必要な 高度な業務	食事準備・補佐（とろみ付け・食堂移動声かけ等）	d:専門補助	★	★	★★
	トイレ（移動の声かけ等）	d:専門補助	△	★★	★★
	入浴（浴室移動声かけ・ドライヤー等）	d:専門補助	★	★	★★
	レクリエーション（活動補助・企画・声かけ等）	c:コミュニケーション	△	★	★★
	移動（車椅子・歩行の付き添い等）	d:専門補助	△	★★★★	★★
	施設内での見守り・コミュニケーション	c:コミュニケーション	★	△	★★★★
	車での送迎運転	b:技術補助	△	△	★

💡 働いた回数によって任せる仕事を変えてみましょう！

初めての方には「清掃」や「配膳・片付け」などの周辺業務から任せる事業所が多く見られます。また、リピーターの方には「見守り」や「専門補助」へと、段階的に任せる業務を広げていく事例が多く見られます。まずはシンプルな周辺業務から、ステップアップを進めてみてください！